

礼節 …相手の目を見て、自分で伝える



忘れていたり、注意不足であったりすることは、誰にでもあります。そのときに…

困りごとがあるときや失敗したときに、ためらうことなく話すことができると早く解決するものです。事情によっては、なかなか言い出すことができないこともあるでしょう。「きっと困っているのでは…」と職員が察して声をかけることもあります。待っているのは気付かれないこともあります。「気が付いてもらえなかった…」となると解決が遅れていきます。困っていることから目を背け、考えないようにすると解決がさらに遅れ、問題が大きくなります。自分から自分に起きている困りごとについて人に伝えることができることはとても大切な力です。

原則、休日に職員が勤務をすることはありませんが、勤務日にやりきることができなかった業務があるときは在校しているときもあります。そのタイミングで「忘れ物をしたので教室へ行きたいです」「クラブで使う靴を取りに校舎へ入りたいです」と来校する生徒がいます。誰でも忘れることはあります。解決するために自分から動き自分で伝えることはよいことです。ただ、休日の場合は必ず学校で対応してもらえとは限らないことも承知してください。

休日に来校した生徒たちは、私の目を見て、申し訳なさそうに「忘れ物をしたので…」とはっきりと伝えることができました。保護者の方が一緒に「申し訳ありません…」と話してくださったこともありました。解決後、しっかりと私の目を見て「ありがとうございました」と挨拶する礼節ある姿勢を見ると、「たまたま学校にいてよかった」「紛失ではなく教室にあってよかった」といつも思います。そして、休日に来校しなくてもよいように自分に必要なものを自分で管理することができると思います。

教頭 後藤 弘行

5月8日（木）生徒総会に向けて放課後に打合せをする生徒会執行部・各委員長の生徒たち。皆さんのおかげで生徒全員が自分のこととして考え、前期の活動に見通しをもつことができました。ありがとうございました。

5月12～14日の3日間、生徒会環境委員会・執行部主催で草抜き・種まきを行いました。ボランティアで参加した生徒の皆さんの協力で環境を整えることができました。ありがとうございました。美しいひまわりが咲く日がとても楽しみです。